

Everyone is welcome!! Let's visit the garden of Tetsuma Akabosh

# 旧赤星鉄馬邸の庭園活用社会実験#2

【2月速報版】

## 社会実験開催概要

### ●開催までの経緯

当社会実験の実施にあたっては、2023年7月に公募により武蔵野市在住在勤の企画・運営スタッフ25名を選出した。8月～10月に亘り、計3回の企画会議を実施し、11月に第1回目の社会実験を実施した。

11月社会実験の結果を受け、計2回の企画会議を実施した。企画会議では、7月までに実施した市民ワークショップの結果や社会実験での来場者意見を基に、4つの企画を立案した。当企画は、企画・運営スタッフにより、ブラッシュアップし、社会実験での実現性について検討した。

### ▼社会実験開催に至る経緯

#### 11月社会実験



11月社会実験では、秋晴れのなか、老若男女さまざまな方が来場した。当日は、アンケートやワークショップボードにより意見収集した。

#### 第4回



社会実験の結果を踏まえ、2月社会実験の企画について実施にむけた検討を開始。

#### 第5回



4つの企画に分かれ、準備物の確認等の最終確認を実施。また、社会実験当日の運営計画も共有。

### ●社会実験の概要

当社会実験は、旧赤星鉄馬邸と庭園を一体的に活用していくことを目指したものである。今回、第二弾としては、「庭園と建物の一体的な活用可能性」に視点を置き、建物・庭園を会場とした。

社会実験は、朝方に雨が降り開催が危ぶまれたが、開催時間内は雨がやみ開催された。2月の寒い時期ではあったが、庭園内、建物内ともに老若男女さまざまな方が来場した。

### ▼社会実験開催概要

日時	2024年2月4日(日) 10時～16時 ※入退場自由。
企画	<ul style="list-style-type: none"> <li>① [キッチンカー] 道草ヒュッテ</li> <li>② [飲食テント] ケーニッヒ</li> <li>③ [飲食テント] シフク食堂</li> <li>④ [語り] 渡辺哲(俳優)の朗読、語り</li> <li>⑤ [音楽] 武蔵野市民交響楽団金管八重奏</li> <li>⑥ [音楽] 歌曲: 浜坂京子、ピアノ: 大塚純子</li> <li>⑦ [音楽] 歌: ゆいこ、チェロ: オクムラ</li> <li>⑧ [学びツアー] 旧赤星鉄馬邸七不思議ツアー「建築たんてい団」</li> <li>⑨ [学びテーブルトーク] 暮らしのテーブル茶道ワークショップ</li> <li>⑩ [学びテーブルトーク] みどりを介したコミュニティデザイン</li> <li>⑪ [学びテーブルトーク] 流浪の建築家 A.レーモンドの魅力その豊穡なる人生</li> <li>⑫ [学び企画展] 旧赤星鉄馬邸と同時代の名建築</li> <li>⑬ [スポーツ] グランドゴルフ</li> <li>⑭ [子ども企画] オリジナルカルタとお庭で宝探し</li> </ul>
調査	<ul style="list-style-type: none"> <li>・アンケート調査 (①来場者対象、②近隣住民対象)</li> <li>・滞留調査</li> <li>・音環境調査</li> </ul>



# 社会実験結果報告（2月集計時点速報）

## ●社会実験時のプログラム

	10:00	10:30	11:00	11:30	12:00	12:30	13:00	13:30	14:00	14:30	15:00	15:30	16:00
① [キッチンカー] 道草ヒュッテ		●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●
② [飲食テント] ケーニッヒ		●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●
③ [飲食テント] シフク食堂		●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●
④ [語り] 渡辺哲（俳優）の朗読、語り			●	●	●								
⑤ [音楽] 武蔵野市民交響楽団金管八重奏					●	●	●						
⑥ [音楽] 歌曲：浜坂京子、ピアノ：大塚純子							●	●	●				
⑦ [音楽] 歌：ゆいこ、チェロ：オクムラ								●	●	●			
⑧ [学びツアー] 旧赤星鉄馬邸七不思議ツアー「建築たんてい団」			●	●	●		●	●	●		●	●	●
⑨ [学びテーブルトーク] 暮らしのテーブル茶道ワークショップ						●	●	●					
⑩ [学びテーブルトーク] みどりを介したコミュニティデザイン							●	●	●				
⑪ [学びテーブルトーク] 流浪の建築家 A.レーモンドの魅力その豊穡なる人生										●	●	●	●
⑫ [学び企画展] 旧赤星鉄馬邸と同時代の名建築	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●
⑬ [スポーツ] グランドゴルフ			●	●	●		●	●	●	●	●	●	●
⑭ [子ども企画] オリジナルカルタとお庭で宝探し	●	●	●						●	●		●	●

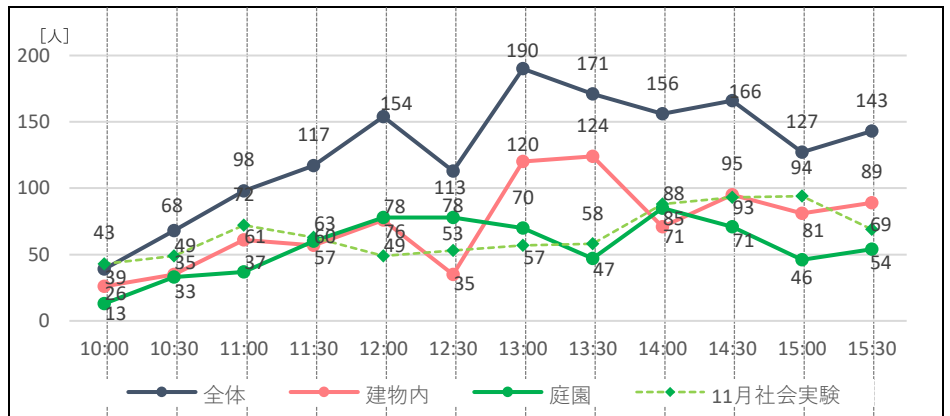
## ●建物・庭園内の滞留状況の推移

社会実験時の建物・庭園内の全体滞留人口は、40～190 人の間で推移し、平均 130 人程度の滞留があった。

庭園内の滞留人口を 11 月社会実験と比較すると、12～13 時の間で上回る滞留が見られた。

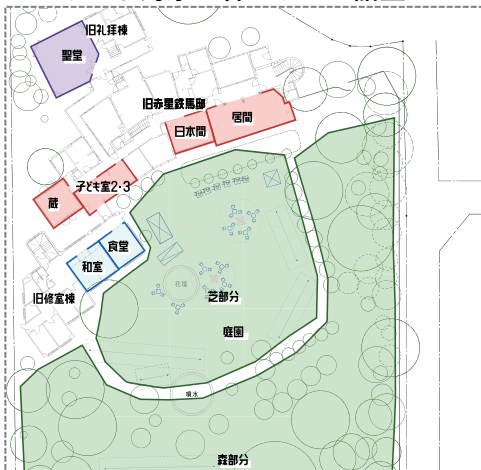
各エリア・諸室別にみると、庭（芝部分）の 12 時台、14 時台で滞留が多く見られた。また、居間、礼拝棟聖堂、日本間で企画がある時間帯には、企画を楽しむ人の滞留が見られた。

### ▼滞留人口推移傾向（11 月社会実験との比較）

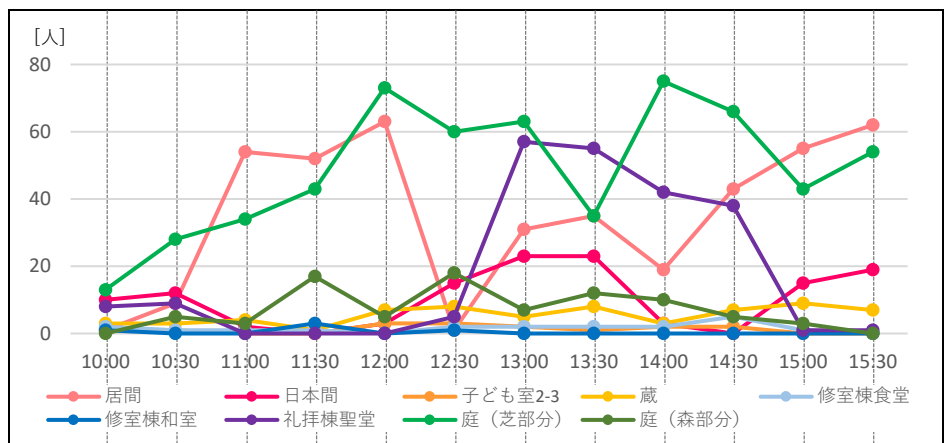


※カウンター計測により記録した人数（スタッフ含む）

### ▼カウント対象の各エリア・諸室



### ▼各エリア・諸室の滞留人口推移傾向

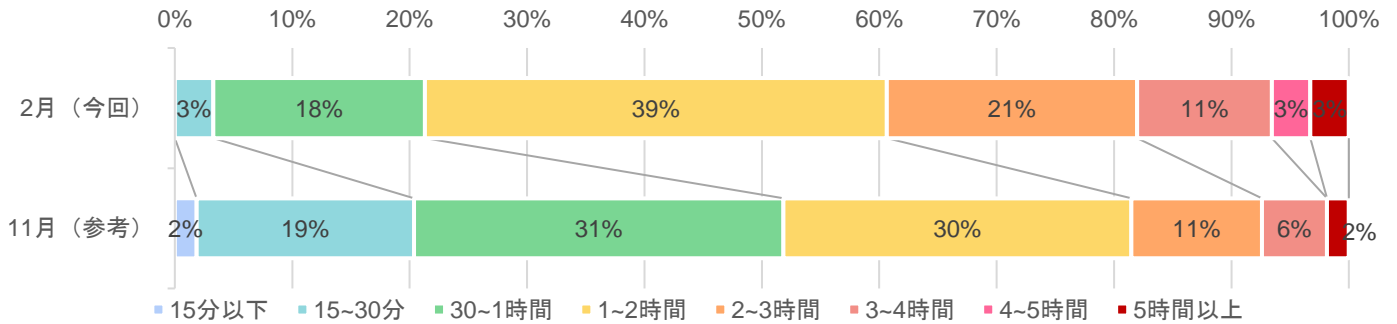


※カウンター計測により記録した人数（スタッフ含む）

## ● 滞留時間の状況

社会実験当日の滞留時間は、「1～2時間」が39%と最も多く、次いで「2～3時間」が21%と多かった。11月社会実験と比較すると30分～1時間程度の滞在時間の増加が見られ、建物内外の多種類のコンテンツ企画の実施により、滞在時間増加に寄与したと推察される。

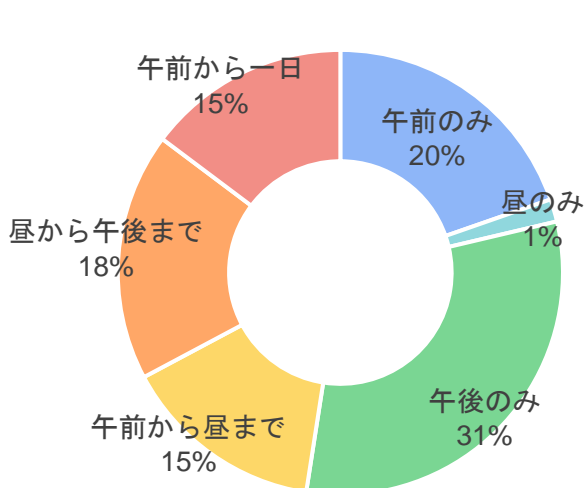
### ▼ 来場者の滞留時間（11月社会実験との比較）



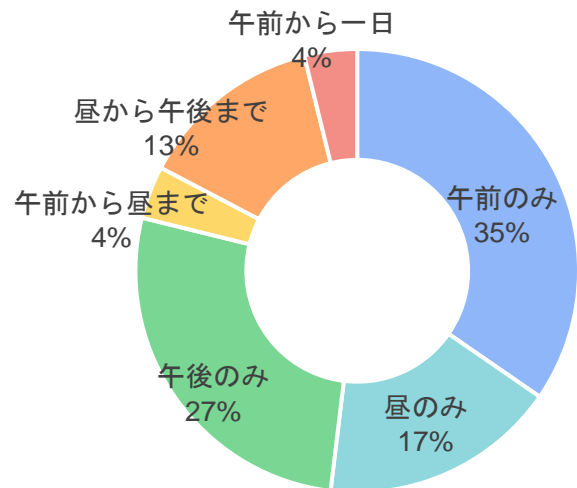
### ▼ 定点カメラによる庭園の滞留状況



また、滞在時間帯を分類別を確認すると、2月の社会実験は昼を跨いだ滞在が48%と、11月の社会実験（21%）と比べて増加した。食事コンテンツが3店舗出店したことにより昼間滞在者が増えたと推察される。



▲ 滞在時間帯の分類（2月社会実験）



▲ 滞在時間帯の分類（11月社会実験）

▼各企画の実施状況と参加者数等の結果

庭



グランドゴルフ



ケーニッヒ



シフク食堂



道草ヒュッテ



来場者対象アンケート回答者が利用した（または利用予定）コンテンツ	各コンテンツの結果報告				
(有効回答者数 = 56 件、複数回答有)	0	10	20	30	
【キッチンカー】 道草ヒュッテ	24				◀販売数：ガレット 77 点、焼菓子 14 点
【飲食テント】 ケーニッヒ	28				◀販売数：ホットドッグ 35 点、アルコール飲料 55 点
【飲食テント】 シフク食堂	29				◀販売数：スープ 87 点、パスタ 52 点、チャイ 74 点
【語り】 渡辺哲（俳優）の朗読、語り	5				◀参加者数：54 名
【音楽】 武蔵野市民交響楽団金管八重奏	18				◀参加者数：63 名
【音楽】 歌曲：浜坂京子、ピアノ：大塚純子	5				◀参加者数：57 名
【音楽】 歌：ゆいこ、チェロ：オクムラ	6				◀参加者数：42 名
【学びツアー】 旧赤星鉄馬邸七不思議ツアー「建築たんてい団」	8				◀参加者数：55 名
【学びテーブルトーク】 暮らしのテーブル茶道ワークショップ	1				◀参加者数：12 名
【学びテーブルトーク】 みどりを介したコミュニティデザイン	4				◀参加者数：35 名
【学びテーブルトーク】 流浪の建築家A.レーモンドの魅力その豊穡なる人生	5				◀参加者数：62 名
【学び企画展】 旧赤星鉄馬邸と同時代の名建築	12				—
【スポーツ】 グランドゴルフ	9				◀参加者数：36 名
【子ども企画】 オリジナルカルタとお庭で宝探し	10				◀参加者数：36 名

▼各企画の実施状況と参加者数等の結果

旧赤星邸居間



渡辺哲氏の朗読、語り



武蔵野市民交響楽団金管八重奏



清水忠男氏テーブルトーク



土屋重文氏テーブルトーク

旧赤星邸蔵



旧赤星鉄馬邸と同時代の名建築

旧赤星邸日本間



オリジナルカルタとお庭で宝探し



茶道ワークショップ

旧赤星邸全体



旧赤星鉄馬邸七不思議ツアー

礼拝棟聖堂



浜坂京子氏、大塚純子氏の音楽



ゆいこ氏、オクムラ氏の音楽

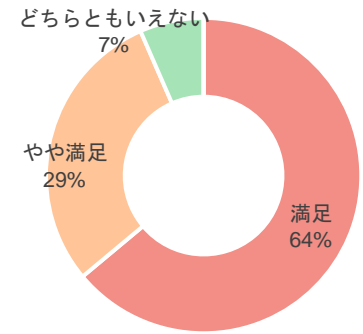


## ●社会実験来場者による評価

### (社会実験全体満足度)

社会実験全体の満足度については、回答者の93%が「満足」または「やや満足」と回答した。「やや不満」「不満」の回答はなかった。その理由としては、「企画の充実」が最も多く、次いで「赤星邸自体」や「社会実験自体」に関する理由が多くあり、多種多様な企画を付加した利活用の可能性について評価できた。特に、「企画の充実」の中で飲食を評価する理由が22件中12件を占めており、庭園でのゆっくり食事ができることについて評価された。

一方で、回答者の7%が「どちらともいえない」と回答した。その理由としては、建物内の見学（特に2階）や利活用・保全について指摘された。



※不満、やや不満の回答はなかった

### ▲社会実験の満足度評価

### ▼満足度評価の理由（来場者アンケート調査より解析）

#### [評価できる理由]

- 企画の充実 21件（カルタに参加できた、色々なイベントと美味しいフード・音楽・展示等盛り沢山で楽しめました等）  
（内訳）企画全体：4件、飲食：12件、子ども：7件、音楽：5件、学び3件 ※複数分野の理由があるため、合計は一致しない
- 赤星邸自体 8件（貴重な建物を見られて良い、当時のままで保存していただいた施設は珍しく文化の街としての誇り等）
- 社会実験自体 7件（この場所を活用すること自体が良い、赤星邸活用を近隣でできたのが良かった、全て機能的等）
- 居心地のよさ 3件（くつろげる場所があり満足・広場での子供のびのびできる、のんびりした等）
- 庭園 1件（庭がひろく季節感ある植物）

#### [課題となる理由]

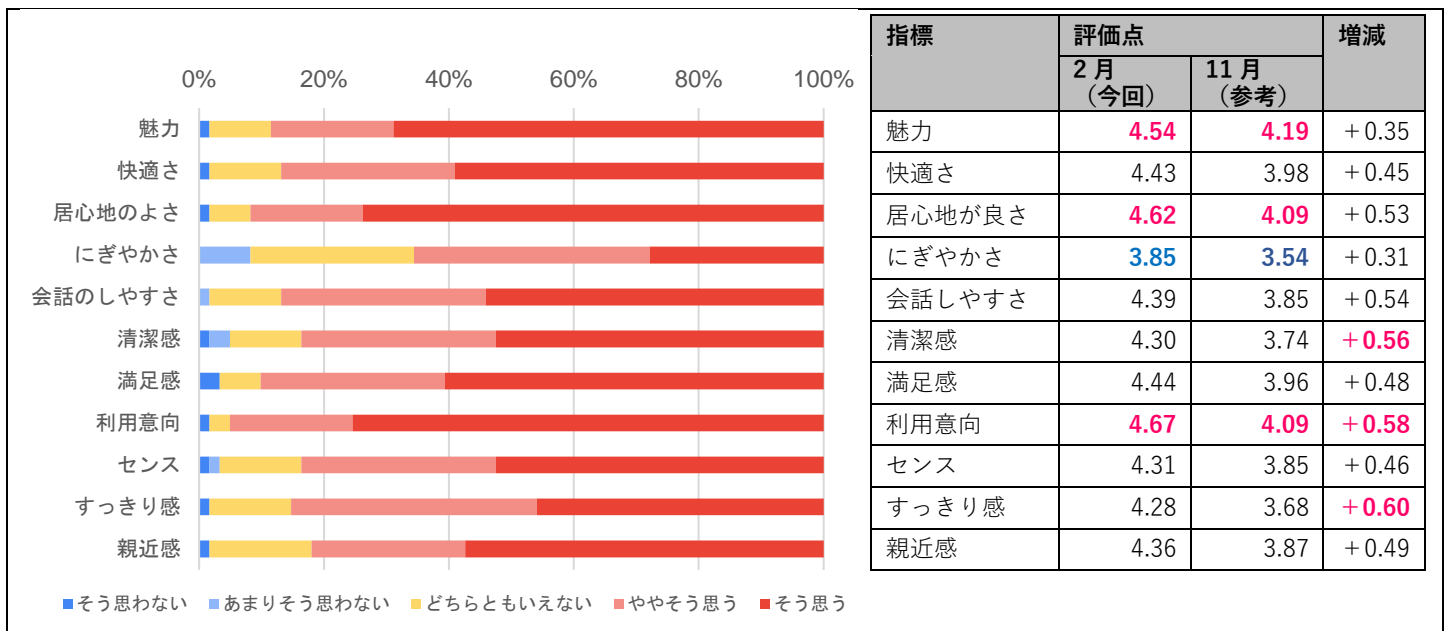
- 建物内の見学 6件（2階も見られたらよかった、履き物が必要なのが不便か、建築ツアーに行けなかった等）
- 利活用 1件（武蔵野市の歴史的な建築の利活用が不十分）
- 保全 1件（内観が当時のものが残されてなかったから）

### (庭園の空間的な評価)

社会実験時の庭園の空間的な評価について、11項目を5段階で評価した。「魅力」「居心地が良さ」「利用意向」について、4.0以上の評価点が確認できた。一方で、最も低い評価点としては、「にぎやかさ」が3.54であり、平常時の静かな印象を残したまま魅力、居心地のよさ等を感じる空間であった。

11月社会実験の空間的評価と比較すると、全体で評点増加が見られた。特に「すっきり感」「利用意向」「清潔感」が増加していることが確認できた。

### ▼空間的評価（来場者対象アンケート調査による5段階評価）



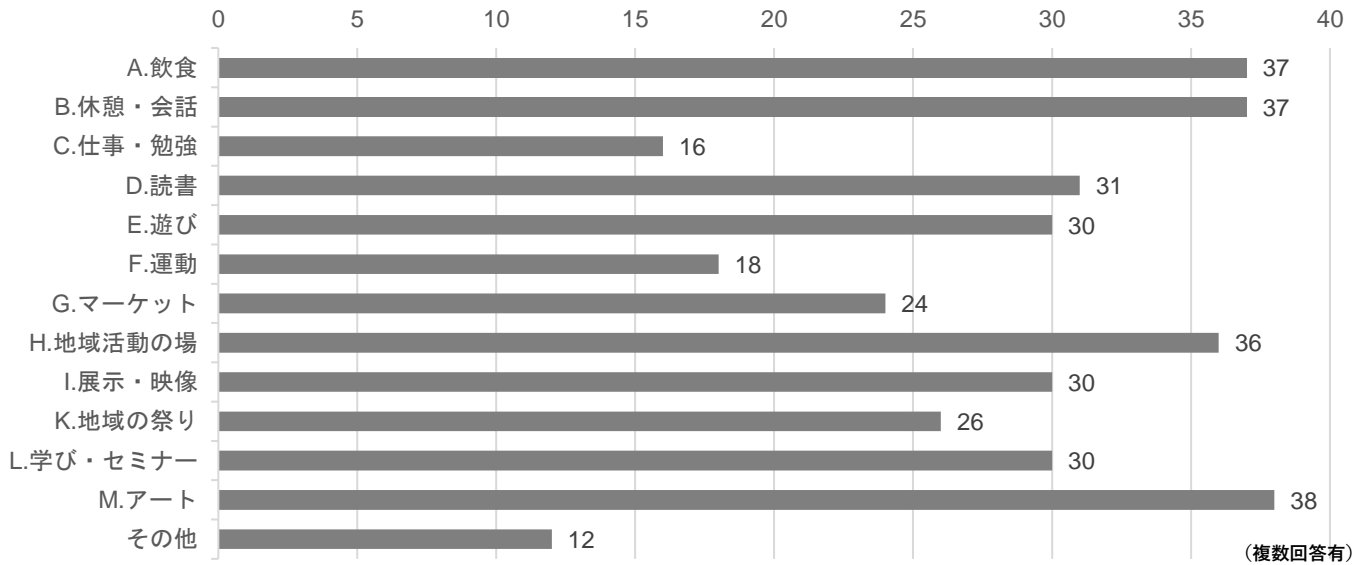
※評価点：5段階評価を得点化（段階ごとで1点～5点に配点）し、有効回答数で除した値

## ● 来場者の活用意向

### (旧赤星鉄馬邸の将来的に望まれる活動・活用)

将来的に望まれる活動・活用については、「アート」が38件、「飲食」が37件、「休憩・会話」が37件、「地域活動の場」が36件と多く、文化的な利用や日常的に利用できる活動・活用が望まれている。

### ▼将来的に望まれる活動・活用（来場者対象アンケート調査）



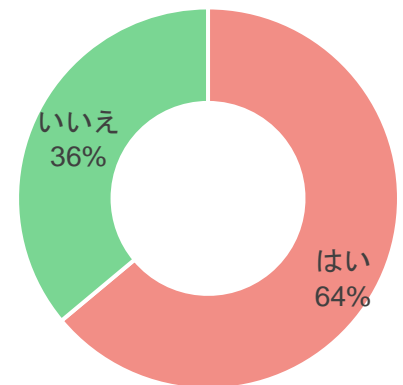
## ● 来場者の普段の赤星邸の印象

### (旧赤星鉄馬邸の認知状況)

来場者の旧赤星邸の認知状況については、回答者の64%が「認知している（はい）」と回答した。

### (以前から旧赤星鉄馬邸を知る人が思う普段の印象)

普段の印象としては、「貴重な建築物・文化財」としての印象が最も多く、次いで「修道院」「広く落ち着いた場所」としての印象があった。一方で、「閉塞的な空間」「わからない空間」等、普段立ち入れない空間であることから、課題となる印象を持たれている人もいた。



▲来場者の旧赤星邸の認知状況

### ▼普段の印象（来場者アンケート調査より解析）

#### [良い印象]

- 貴重な建築物・文化財 13件（歴史的建造物、佇まいが美しい、文化財を今後も残して行って欲しい等）
- 修道院 5件（修道院のイメージ・男が入れない、シスターがよくすれ違っていた等）
- 広く落ち着いた場所 7件（広い家があるくらい、広い空間・素晴らしい建築をぜひ残してほしい、ゆったり落ち着いている等）

#### [課題となる印象]

- 閉塞的な空間 6件（閉じられた空間、四季に一回は開放してほしい等）
- わからない空間 4件（ここはなんだろう、何の建物かわからない、怪しい建物等）

## ●周辺環境への影響

### (音環境調査)

社会実験時の音環境を確認し、近隣への影響度合いを把握した。計測地点は、①旧赤星邸屋上、②南側隣地付近、③西側隣地付近の3地点で計測した。

環境基本法に規定される騒音に係る環境基準と比較評価すると、当調査における音レベルの平均値は、住居地域<sup>※</sup>の昼間の基準値（55dB 以下）を下回る若しくはそれ相当の数値となった。一方で、一時的に鳥の鳴き声や調査機付近での会話等で一時的に高数値になることはあるが、継続的なものではなかった。

2月社会実験時は、平常時と比較すると平均約 5～6.5dB 大きくなっていることを確認した。11月社会実験時と比較すると南側隣地付近で約 2.5dB 小さくなっており、建物内の企画を増やしたことが起因していると考えられる。

### ▼調査機設置位置



### ▼音環境調査結果概要

	①旧赤星邸屋上			②南側隣地付近			③西側隣地付近		
	AVE	MAX	MIN	AVE	MAX	MIN	AVE	MAX	MIN
10:00	49.86	61.20	42.70	45.62	59.50	38.80	44.61	56.10	40.40
11:00	50.83	59.30	41.40	43.34	54.10	35.70	45.60	66.50	39.50
12:00	51.35	57.60	47.40	49.09	62.90	40.30	46.85	63.00	41.30
13:00	52.12	64.50	47.30	46.25	69.60	39.30	47.88	76.60	40.20
14:00	53.14	59.00	48.70	46.69	59.30	40.70	48.47	60.90	41.80
15:00	50.56	61.40	46.50	45.77	58.90	38.40	46.86	68.80	40.30
2月社会実験平均	51.31	60.50	45.67	46.13	60.72	38.87	46.71	65.32	40.58
11月社会実験平均	50.24	59.12	44.45	48.62	66.92	40.38	46.22	57.10	39.76
12月平常時平均	44.75	56.32	39.05	39.79	57.98	33.00	41.46	53.67	35.18

※単位は、音レベル (dB)

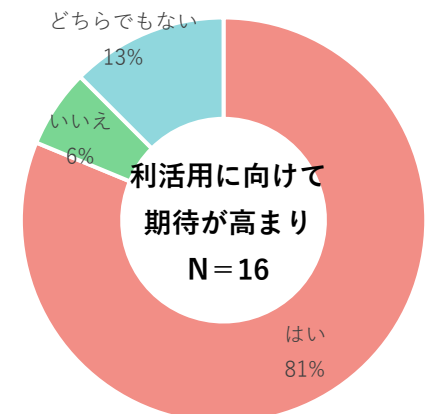
※環境基本法に規定する環境基準における地域の類型 A 及び B を「住居地域」と定義した。

### (近隣住民による印象調査)

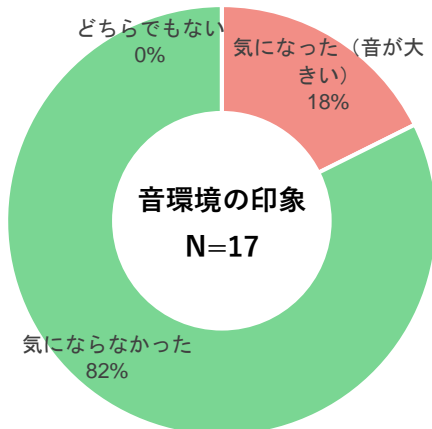
社会実験当日に、会場や自宅にいた方を対象に社会実験の印象調査<sup>※</sup>を実施した。社会実験の実施を受けて利活用に向けた期待の高まるかについては、81%の人が「はい」と回答した。

また、近隣住宅・住民への影響として、「音環境」「人の多さ」「交通量の増加」の印象を調査した。いずれも「気にならなかった」が最も多く、「音環境」が82%、「人の多さ」が71%、「交通量の増加」が76%であった。一方で、「気になった」との回答もあるため、今後の社会実験や利活用においては十分な配慮が必要である。

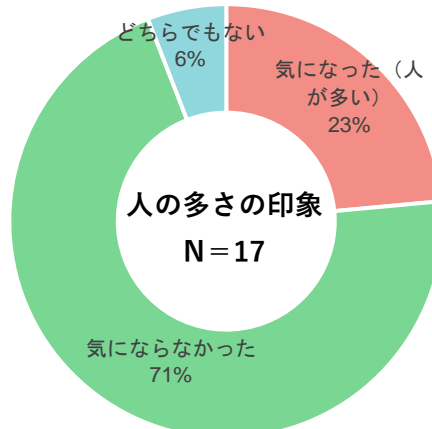
※近隣住民 129 世帯を対象に社会実験の実施を受けて活動自体や当日の印象、今後の意向や懸念点についてアンケート調査を実施した。(回収数 23 通 (回収率 17.8%))



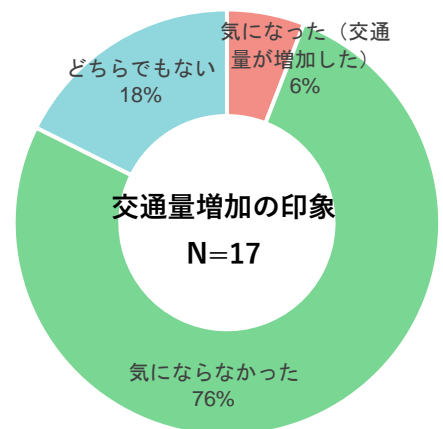
### ▲利活用に向けた期待の高まり



### ▲音環境の印象



### ▲人の多さの印象



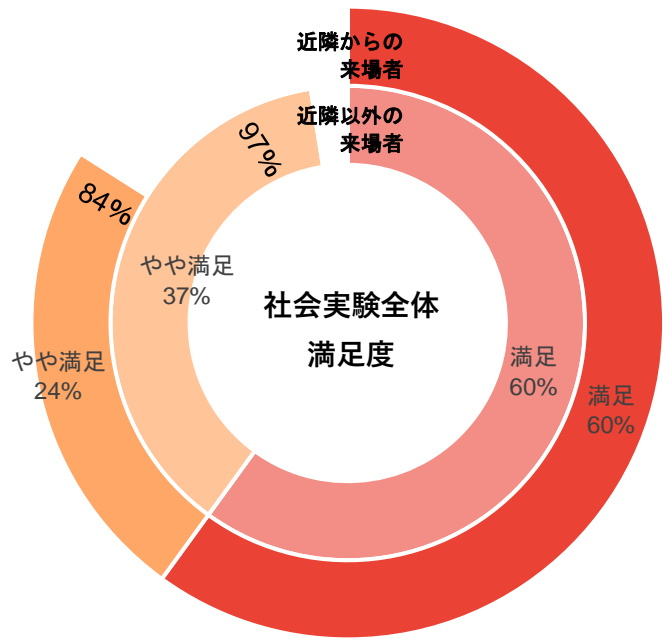
### ▲交通量増加の印象



## ● 来場者と近隣住民の印象比較

### (社会実験全体満足度)

社会実験全体の満足度について、居住属性を分類し解析した。近隣から来場した回答者の84%が「満足」または「やや満足」と回答した。また、近隣以外から来場した回答者の97%が「満足」または「やや満足」と回答した。近隣からの来場者が3割程度を占めていることから、満足度の維持向上が必要である。



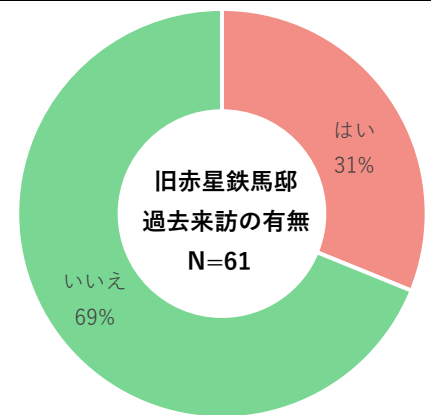
▲社会実験の満足度評価 (近隣・近隣以外の比較)

## ● その他来場者の属性

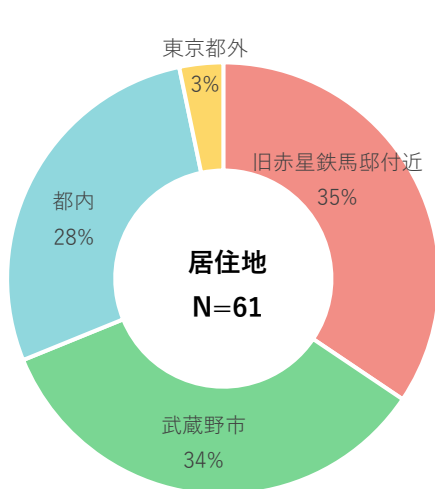
今回、来場した方の69%は、旧赤星鉄馬邸に来たことがない人であった。来場者の居住地は、武蔵野市内が67% (近隣35%、近隣外の市内34%)であった。都内(市外)からの来場者も28%あった。

来場者の移動手段は、「徒歩」が48%と、近い距離からの来訪者が多かった。「自転車」による来場が18%であり、予備駐輪場として第一小学校を確保していたが、ほぼ使用されなかった。

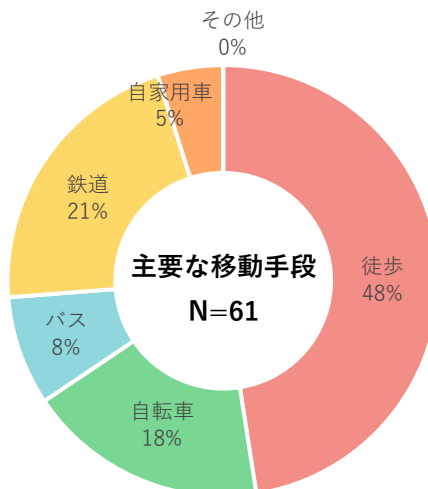
来場グループは、「家族(子ども含む)」が38%と最も多く、次いで「一人で」が33%と多かった。



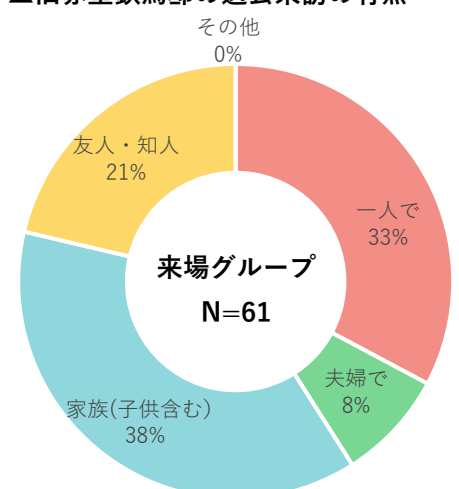
▲旧赤星鉄馬邸の過去来訪の有無



▲居住地



▲主要な移動手段



▲来場グループ